

ホンモロコ天然卵からの親魚養成

寺井章人・根本守仁・大澤宏史

1. 目的

ホンモロコの繁殖動態解明のための試験用に親魚を得ることを目的に天然卵から親魚養成を行った。

2. 方法

1) 0 歳魚養成

①天然卵の採集

2023 年 4 月 12 日から 5 月 17 日に、守山市今浜地先の琵琶湖、西の湖および西の湖に流入する山本川で、柳の根やヨシ、砂礫等に付着したホンモロコ卵を採集した。

②飼育管理

採集した卵から得られたふ化仔魚を、30L 円形パンライト水槽に 1 水槽あたり 1,000 尾以内を目安に収容し、ツボワムシを給餌し約 2 週間飼育した。

その後は、40 m²の屋外池に放養して飼育した。放養から約 7～10 日間はツボワムシ、その後 5～10 日間はツボワムシと配合飼料を併用、それ以降は配合飼料を給餌した。

2) 経年魚の飼育管理

過去に養成した 1 歳魚および 2 歳魚についても 40 m²の屋外池において配合飼料により継続飼育を実施した。

3. 結果

1) 0 歳魚養成

①天然卵の採集

卵の採集は期間中に 5 回行い、約 7,000 尾のふ化仔魚を得た(表 1)。

②養成

2023 年 11 月時点の 0 歳魚養成状況を表 2 に示す。7A-3 の池で夏季に細菌性と思われる感染症によるまとまったへい死が見られたが、抗生剤の投薬により対応した。過去の秋時点での 0 歳天然魚の平均体重は約 7g とされて

おり、両池とも天然と同程度以上の成長が確認できた。

2) 経年魚の飼育管理

2023 年 11 月時点での 1 歳魚および 2 歳魚の飼育状況を表 3 に示す。両池とも目立ったへい死等も確認されず適切に飼育管理することができた。また 2024 年春の時点で十分な成熟が確認され、本種の繁殖動態解明に向けた産卵基体の基質試験にこれら経年魚を利用した。

表 1 卵採集およびふ化仔魚の状況

卵採集日	採集場所	ふ化仔魚尾数
4月12日	守山市今浜地先	約 500尾
4月19日	守山市今浜地先	約 1,500尾
4月19日	山本川	約 1,500尾
5月10日	山本川	約 2,000尾
5月17日	西の湖	約 1,500尾

表 2 ホンモロコ 0 歳魚養成状況

池番号	卵採集日	平均体重	尾数
7A-3	4/12、4/19	8.66g	1,111尾
7A-7	5/10、5/17	7.45g	2,893尾

表 3 ホンモロコ経年魚の飼育状況

池番号	年齢	平均体重	尾数
7A-2	2歳	15.7g	1,726尾
7A-6	1歳	10.0g	2,826尾